

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert（傷害速報）

No. 151 スーパーマンチャレンジによる外傷性脳損傷①

事例	基本情報	年齢：15歳4か月 性別：男児 体重：52 kg 身長：170 cm
	家族構成	父，母，姉，弟
	発達・既往歴	成長発達に特記事項なし。既往に橈骨遠位端骨折あり。
臨床診断名		急性硬膜外血腫，急性硬膜下血腫，外傷性くも膜下出血，脳挫傷，頭頂骨骨折
医療費		入院 253,350 円 外来 22,310 円
原因対象	対象名称	なし
	入手経路使用状況	なし
発生状況	発生場所	屋根のある通路
	周囲の人 周囲の環境	同年代の友人10名と Social Networking Service（以下 SNS）に投稿するための動画を撮影していた。
	発生年月日	2024 年 12 月 X 日（月） 午後 8 時 50 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	本児は，友人 10 名と SNS に投稿するための「スーパーマンチャレンジ※」を天井 3～4 m ほどの屋根のある通路のような場所で順番に行っていた。本児は，6 名ほどの友人（男児）たちが両手を広げ待ち構えているところに腹臥位で飛び込み，胸上げのように天井に向かって打ち上げられるような形となった。約 2 m の高さまで打ち上げられたのち，頭部からコンクリートの地面に墜落した。墜落後，約 30 秒間の意識消失があり，約 15 秒の全身性間代性けいれんを認めた。その後，意識は回復したものの，周囲の友人が本児の母に電話連絡で状況を報告したところ，救急要請するように指示され午後 9 時 30 分に救急要請した。本児が投稿目的で動画撮影をしたのは初めてではなかったとのことであった。 ※「スーパーマンチャレンジ」は，スーパーマンに模した人が数人の仲間が手を広げている中に飛び込み，その反動で身体を起こすことを楽しむチャレンジ行為のこと（図 1）
医療機関受診時以降の治療経過 転帰		救急隊接触時，JCS2，体温 37.3 度，脈拍 80 回/分，呼吸数 20 回/分，血圧収縮期 130 mmHg 台であった。医療機関受診時は，救急隊接触時と同程度であったが，見当識障害，前向き健忘を認めた。右側頭部に皮下血腫があり，右側頭部から頭頂部に疼痛の訴えがあった。胸部と骨盤部の X 線写真を撮影し，骨折所見なし。頭部 CT にて急性硬膜外血腫，急性硬膜下血腫，外傷性くも膜下出血，脳挫傷，頭頂骨骨折を認めたため（図 2），経過観察目的に入院した。入院後，頭痛や嘔気・嘔吐が持続しており経口摂取困難が続いたため，アセトアミノフェンや NSAIDs による鎮痛と補液を行った。X+2 日には経口摂取が可能となり X+3 日には嘔気は消失，頭痛も鎮痛薬内服でコントロール可能となったため退院とした。X+8 日の外来フォロー時は明らかな後遺症はなかった。 家族より，今回のことは命の危険もある行動であり，家族内で，もう一度 SNS の投稿内容などを指導するとの発言があった。
キーワード		SNS 動画，スーパーマンチャレンジ，外傷性脳損傷

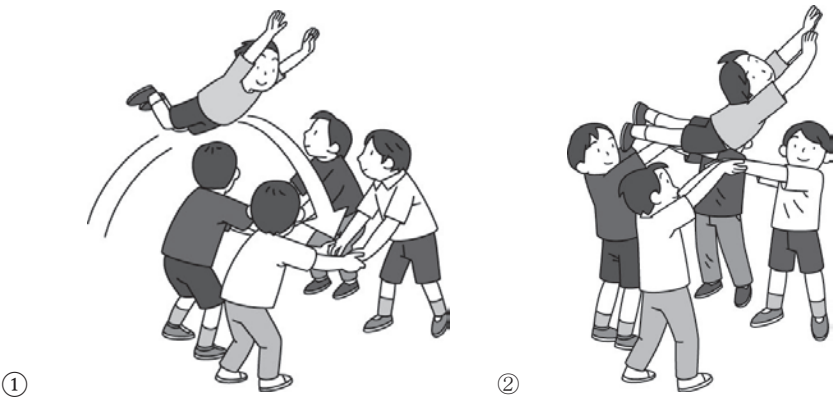


図 1

- ①スーパーマンに模した人が数人の仲間が手を広げている中に飛び込み
②反動で身体を起こす

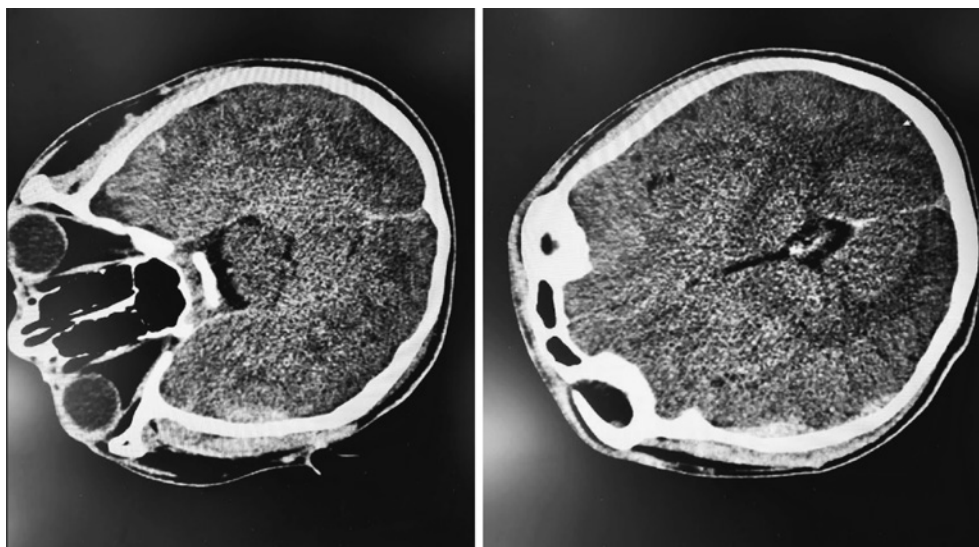


図2 頭部 CT にて、急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫、外傷性くも膜下出血、脳挫傷、頭頂骨骨折を認めた

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. はじめに

スーパーマンチャレンジとは、動画投稿サイトや SNS で流行している遊びで、以下のような特徴がある¹⁾。

①参加者の一人が、スーパーマンの飛行ポーズをとって高所から空中に飛び込む。

②2～4 人程度の仲間が手を広げて待ち受け、飛び込んできた人を受け止める。

③受け止めた仲間が、その反動を利用して飛び込んだ人を上に押し出し、飛び込んだ人が体を起こす。

この遊びは、一見スリリングで面白そうに見えるが、実際には、受け手の反応や力加減、飛び込む人の体重や勢いなど、様々な要因によって重大な事故につながる可能性が高い。

このスーパーマンチャレンジによる重篤な事故が世界で報告されている。

2. 発生している事故について

①世界での発生状況²⁾

- ・北マケドニア：10～17 歳の少なくとも 17 人が骨折や打撲で入院
- ・ルーマニア：1 日 20 人以上が病院搬送、複数名が手術を要する重傷
- ・イスラエル：19 人が重症、頭部打撲による致死的状态

②国内での発生状況

- ・15 歳男児が 2 m 落下、急性硬膜下血腫・頭蓋骨骨折により入院（本事例）
- ・13 歳男児が意識消失・両手骨折
- ・その他、全国各地で骨折等の重傷例が多数報告されている。

3. 重症事故が発生する理由と危険性

このチャレンジで重症事故が発生する理由としては、受け手の人数不足による衝撃吸収に限界があることや、コンクリート等の固い地面で実施されていること、動画撮影が安全より優先されてしまうこと、集団での興奮状態が危険を軽視してしまうことが挙げられる。前述のように、このチャレンジの失敗により、頭蓋骨骨折や急性硬膜下血腫等の重篤な頭部外傷、前腕、鎖骨、肩等の深刻な骨折、脊椎損傷、意識障害を引き起こす例が報告されている。

4. 自治体や社会の動き

沖縄県浦添市では、本チャレンジによる事故が相次ぎ、小中学校から注意喚起が出された³⁾。また、現

在はスーパーマンチャレンジの動画は動画投稿サイトの削除対象となっている。

5. 委員会から、若い皆様・保護者の皆様へ

このチャレンジに限らず、SNSを通じて拡散される危険な行為はこれまでも複数確認されており（Choking game 等）、一瞬の楽しさと引き換えに、取り返しのつかない重大事故を引き起こす可能性がある。今までに多くの若者が重傷を負い、致命的な状態に陥るケースが報告されている。事故を防ぐためには、その行為が（楽しそうに見えても）危険であることを認識し、SNSで目にしても真似をせず、誘われても断ることが肝要である。また、保護者や教育関係者が、このようなチャレンジの危険性を具体的に伝え、SNSへの危険な投稿の及ぼす影響について指導をすることも大変重要である。一方で、この事例は、若者たちを取り巻く環境や製品の改善や、法律による規制などで簡単に予防できるものではない。SNSの規制や管理については、社会の問題として広く議論される必要があると考える。

参考文献

- 1) “#スーパーマンチャレンジ”. YouTube. 2022年6月30日. <https://www.youtube.com/watch?v=gjPetOzhswA>（参照日：2025年4月29日）。
- 2) 坂本昌彦. “スーパーマンチャレンジの危険性とは？世界中で増えるケガと事故の実態”. Yahoo! ニュース エキスパート. <https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/0e30a76f1dfd409a34a14a1c7610726d1b9f4497>,（参照日：2025年4月21日）
- 3) 浦添市. “SNS動画「スーパーマンチャレンジ」に関する注意喚起”. 浦添市公式ウェブサイト. <https://www.city.urasoe.lg.jp/kyoiku/urasoe-es/doc/2024121600077/>（参照日：2025年4月29日）。

【投稿のお願い】重症度が高い傷害を繰り返さないために、傷害の発生状況をできる限り正確に記載して投稿してください。コメントや考察の必要はありません。

投稿様式は学会のホームページ（<http://www.jpeds.or.jp>）の会員専用ページからダウンロードして、こどもの生活環境改善委員会に郵送、または専用 E-mail アドレス（injury@joy.ocn.ne.jp）にお送りください。

投稿先：〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番地5号 水道橋外堀通ビル 4F
日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会「傷害速報」係

傷害速報（Injury Alert）類似事例の記載について

こどもの生活環境改善委員会では、今までに151編の傷害速報（Injury Alert）を学会誌と日本小児科学会ホームページに掲載し、同じ傷害を繰り返さないために傷害予防を呼びかけて参りました。しかし、同じような傷害の発生が後を絶たず、学会誌に掲載された傷害と同じ例を経験したなどのコメントが多くあります。

同じ傷害が起こっているという事実は「傷害予防」のためには重要な情報です。同じ傷害が頻発している事実を公的に発表するため、ホームページ上にて「類似事例」を掲載することにいたしました。

つきましては、掲載された傷害速報の事例と同じような例を経験された際は、類似事例としてご投稿ください。

【投稿方法】

傷害発生日時、児の年齢、性、簡単な傷害の経緯等を簡潔な文章（2～3行）、もしくは類似事例用投稿フォームにまとめて下記の E-mail アドレス宛てに直接お送りください。また、ご連絡先もご明記ください。

事例は日本小児科学会の一般向けホームページに掲載されます。（学会誌には掲載されません）

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番地5号 水道橋外堀通ビル 4F

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会「傷害速報」係

専用 E-mail アドレス：injury@joy.ocn.ne.jp